

エントツ 365本

エントツを

日本一 生かしたまちづくり

昨年、県から市町村に「世界に誇れる日本一住みやすい「ふじの国づくり」を進めよう」との呼びかけがありました。これにこたえて、二十九市町村が応募しましたが、サッカーやサクラエビなどよいところをさらに伸ばそうという計画がほとんどでした。本市は、ともするとじゃまもの扱いされてきたエントツを逆に生かしてみようと、「エントツを日本一生かしたまちづくり」をテーマに選びました。

昨年十一月に「エントツ文化懇談会」をつくり、話し合いを進めながらエントツの生かし方を研究してきましたが、このほど調査研究がまとまりましたのでお知らせします。

エントツの

高さ和本数

市内に近代製紙工業が興り、エントツが建ち始めてから約百年。現在市内にある、高さ五層以上のエントツは三百六十五本。本数・分布状況ともに、日本有数のエントツ都市であることは、間違いありません。

百層以上のエントツは、四本あ

りますが、一番高いのは、旭化成の百二十四層です。また、赤白に塗られている六十層以上のエントツは、二十七本あります。

富士市のエントツは

なに型？

エントツと言うと、皆さんはどのようなエントツを思い浮かべま



5メートル以上の工

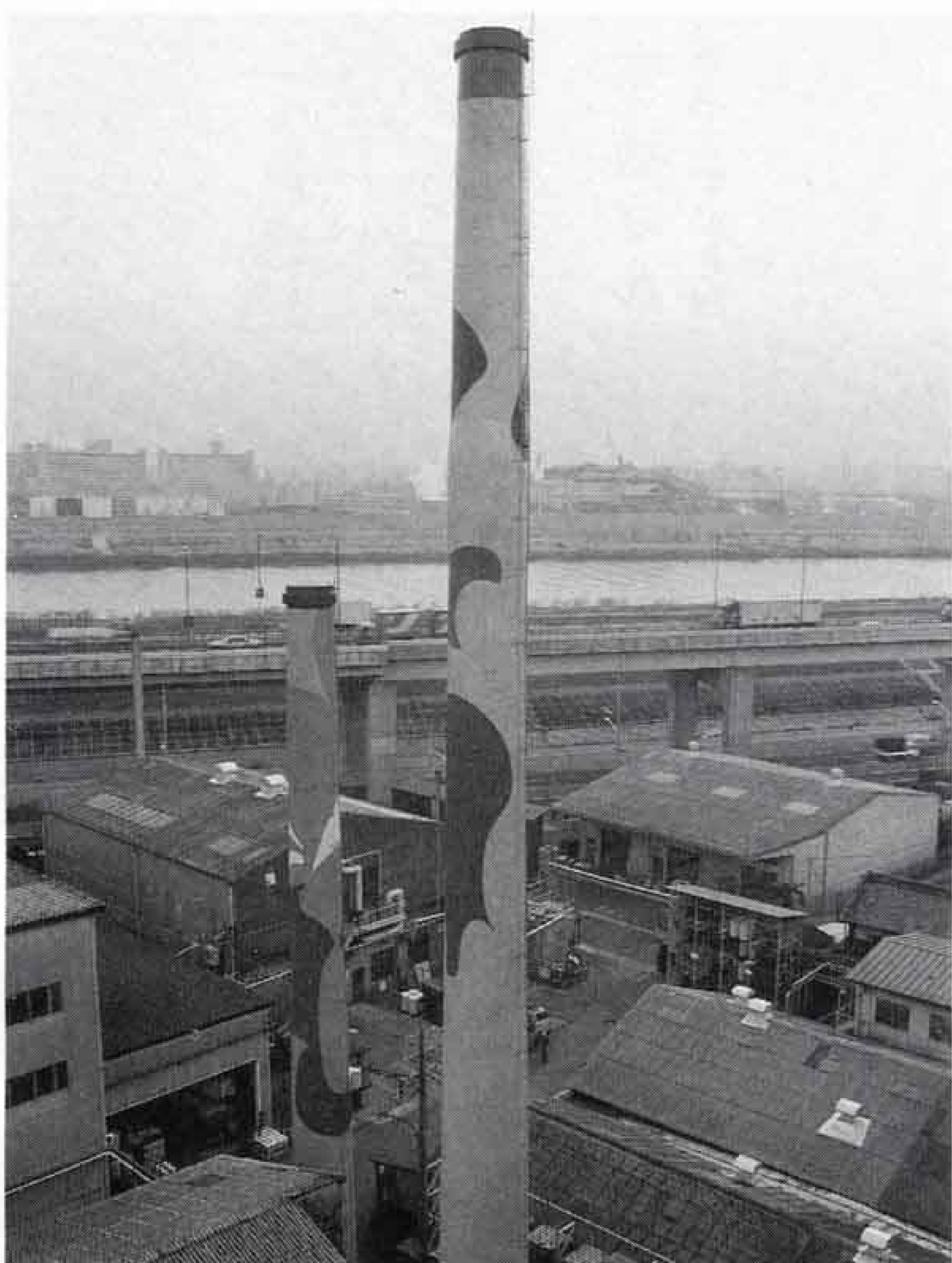
すか。工業都市富士市では、当然製紙工場などにある、たくさんのエントツだと思えます。しかし、都市によっては、ふる屋、清掃工場など、ぼつんと建った一本だけということもあります。

このように、エントツは都市によって数や分布に違いがあり、幾つかの型に分けられると思います。

一、シンボル型：大きなエントツが一・二本ある（世田谷、練馬光ヶ丘など）

二、オバケエントツ型：数本のエントツがあり、見る方向によって本数が変わる（川崎、釜石など）

三、群エントツ型：中・小のエントツが分散し、林立している
本市は、鋳物のまち川口市などと同じように、群エントツ型に入ります。



△世界で初めて色を塗った顔料会社(東京)のエントツ

新しい発想で

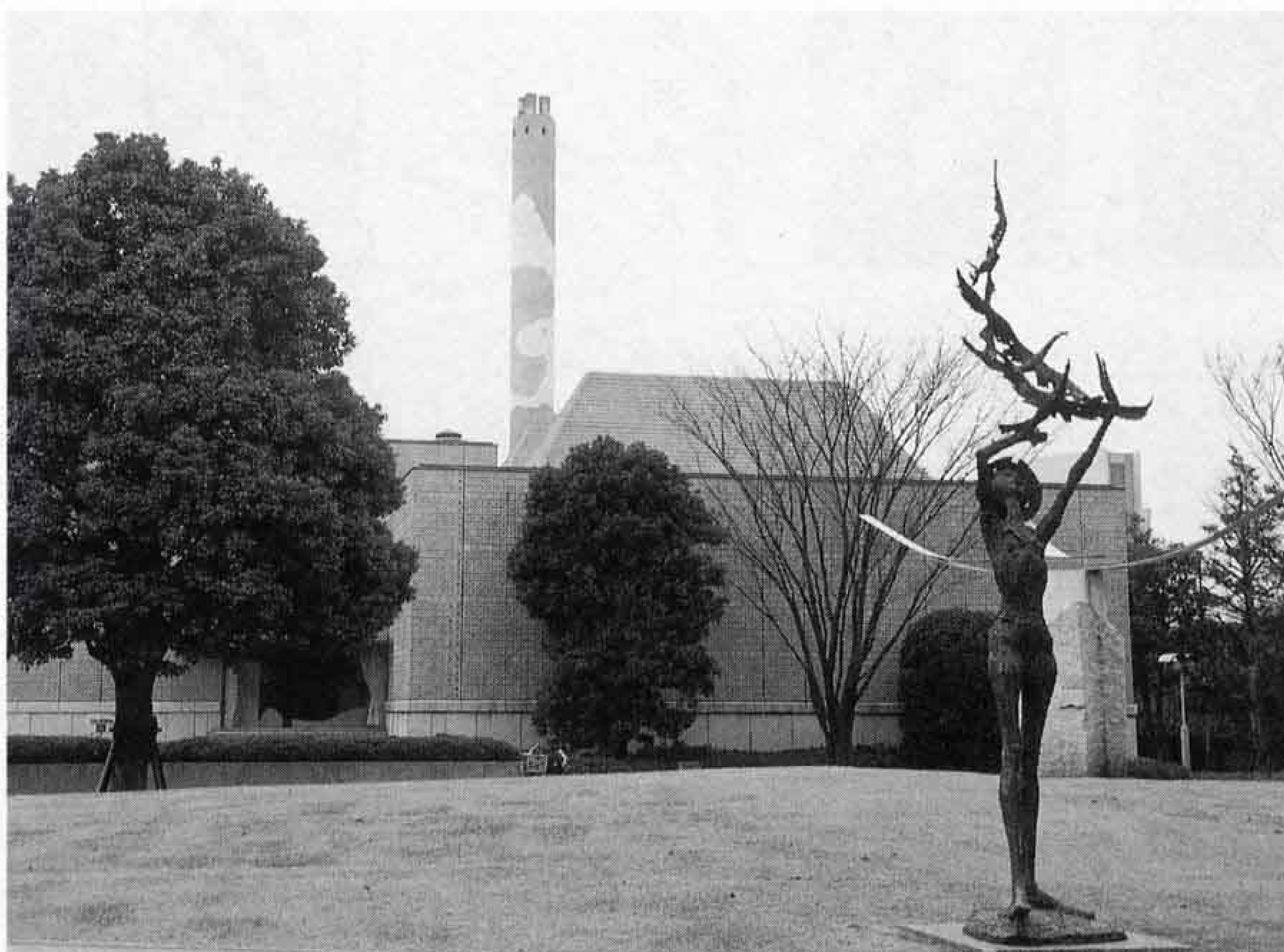
私たちにとって、エントツとは一体なんだろうか。生活を支える労働の場、生産・発展のシンボル、公害の発生源など、人や時代によって見方は違っていますが、最近あまり好まれていないようです。

そこで、じゃまものを逆に生かそうという発想が生まれました。

「好き」と言われる エントツに

東京の世田谷区は、昭和六十一年、砧公園の敷地内に美術館をつくりました。しかし、すぐ隣にある都立の清掃工場の赤白エントツとの調和が、よくありませんでした。そんな折、清掃工場のエントツを建てかえることがわかり、区

は都に相談し、新しいエントツの色彩デザインを、公園や美術館と調和したものにする事になりました。デザインは、全国から公募しましたが、地元の幼稚園児などからも多数の応募があり、総数は千点を超えました。そして完成後は、公園や美術館ともよく調和し、地域のシンボルや目印にもなっています。また清掃工場の職員も、「ここがお父さんの働いているところだ」と、子供に自慢するようになったそうです。



△世田谷美術館と空に溶け込むような清掃工場のエントツ

この計画を進めた世田谷区都市デザイン室の原さんは、「区民や全国の皆さんにPRし、理解と意見をいただいたこと。エントツの数が少なく、シンボル・目印として使えたことが成功の鍵です。富士市はたくさんのエントツがあるので、世田谷のまねをしてもだめだと思えます。市民の皆さんと一緒にまちづくりの一環として、時間をかけてエントツ群のデザインを考えていく必要があります」と話してくれました。エントツ群のデザインは、全国に例がありません。

エントツ文化懇談会

市は昨年の11月、「エントツを日本一生かしたまちづくり」に向けて、エントツのある企業や市民14人で「エントツ文化懇談会」をつくりました。



白神義朗さん
(旭化成工業事務部長)

会社には、市内で一番高い百二十四階のエントツがあります。企業としては、エントツが公害問題などで市民と対立するのではなく、親しみの対象となると大変ありがたいですね。そのためには、エントツ観察会などで皆さんに関心を持っていただくとか。しかし、たくさんエントツを考えると、富士山を背景にした街並に溶け込むようなエントツづくりが基本だと思っています。また、道添いに工場の塀が長く続く暗い道も多いので、エントツを街灯がわりに使うなど、役に立つエントツもいいと思いますね。全体の計画がしっかり決まれば、会社としても協力できると思います。



小沢昇司さん
(屋外広告業)

エントツは、単に工作物として見ると、じゃまで味けないけど、名前を付けて生き物として見ると、個性があつて非常におもしろいですね。それと、エントツのある工場で働き、生計を立てていることを考えると、エントツに感謝し、愛情を持って目を向けることも必要。そんなことでも、エントツの見方が変わってくるんじゃないですか。林立するエントツの対応は難しいと思うけど、地域を分けて、丸、三角、四角にするとか、東西南北の一本ずつだけ違う色に塗り、目印にしてもいいかな。展望台のあるガラスのエントツをつくるのが僕の夢なんです。

エントツってなにが言いたいの？

話し合いや他都市の視察の中で、エントツに親しむ方法など、いろいろな意見が出され、調査報告としてまとめられましたが、ここで、懇談会参加者の内から、4人の方にお話しをお聞きしました。



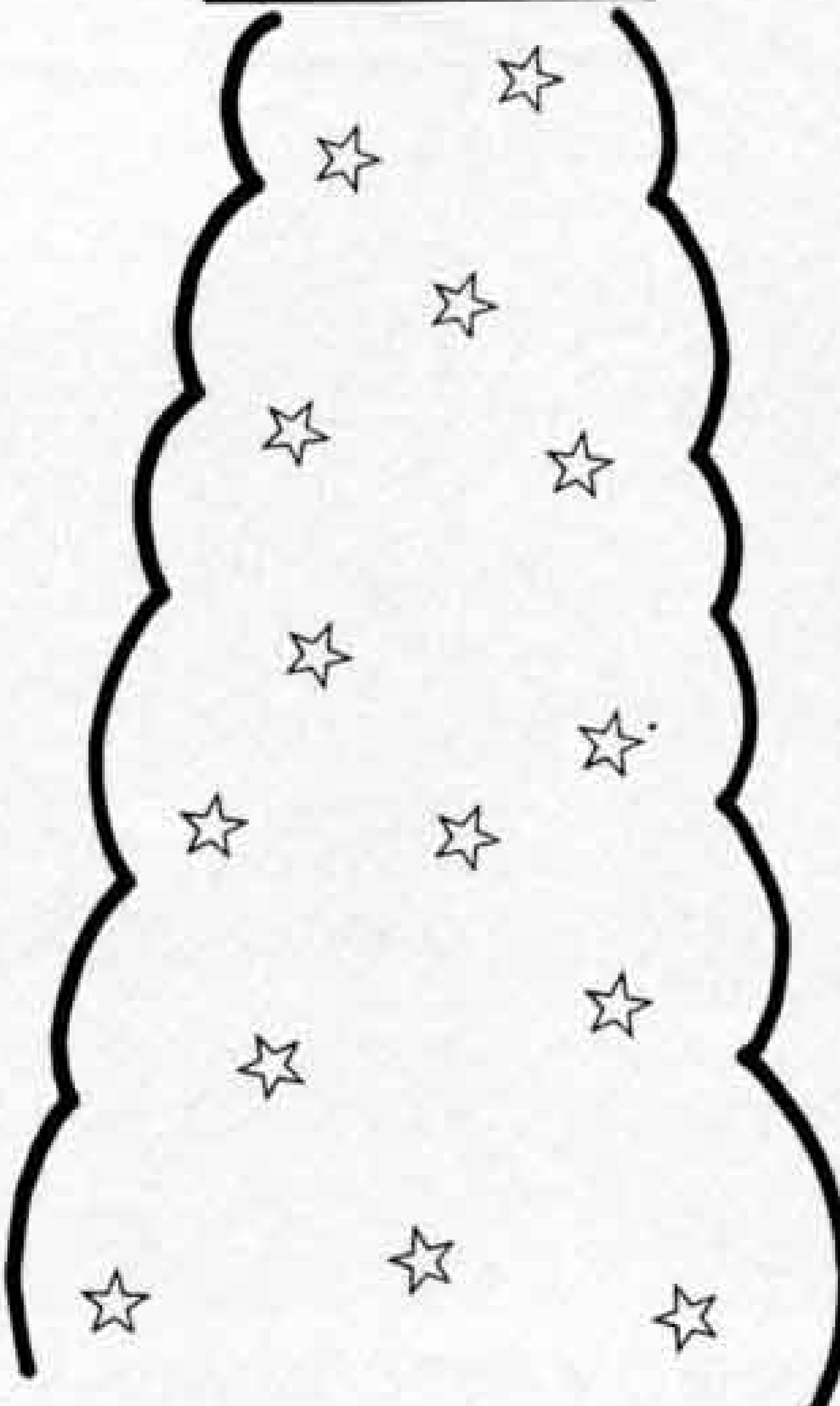
川口宗敏さん
(東海大学助教授)

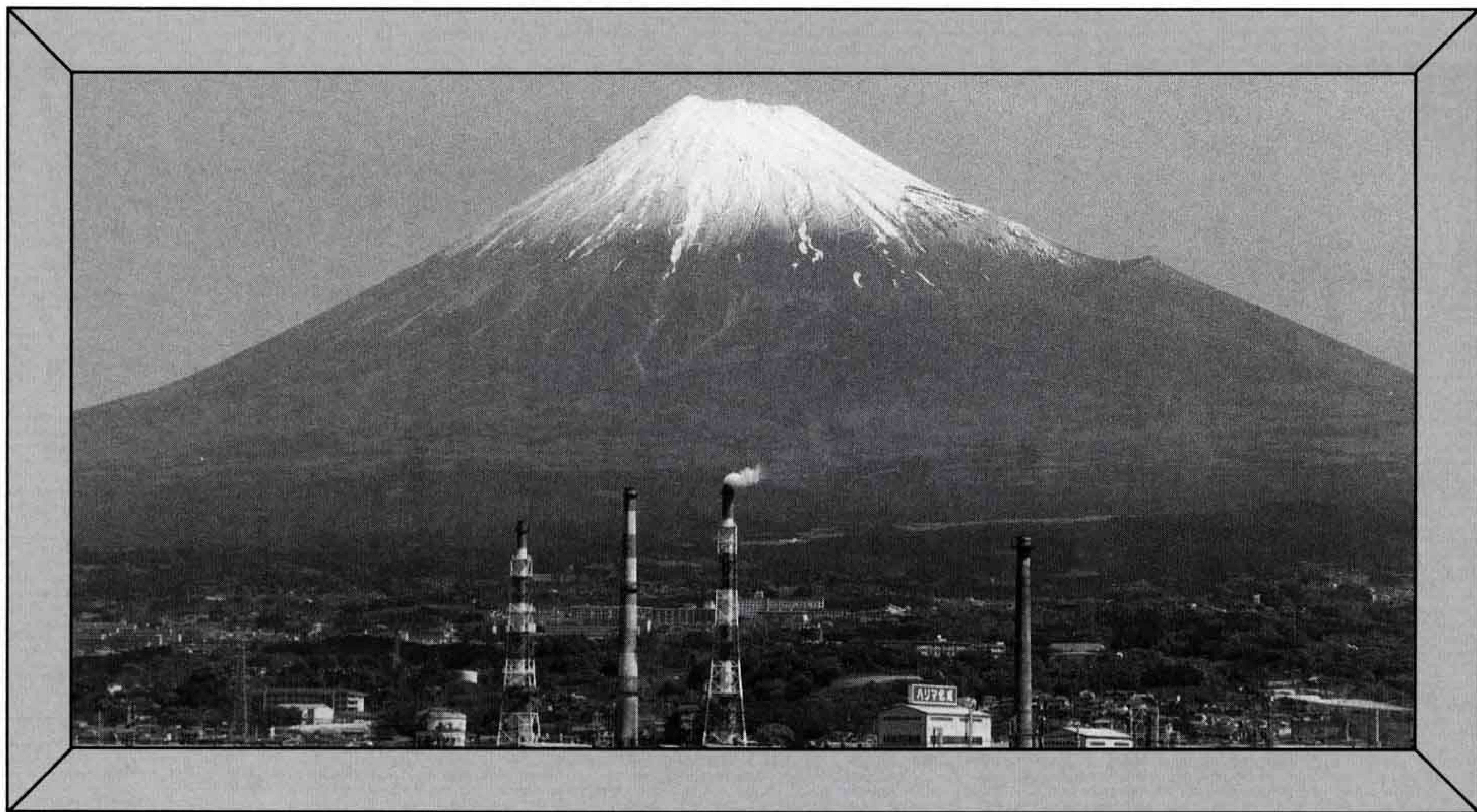
懇談会の座長として参加させていただきましたが、初めは少しとまどいましたね。不粋なエントツと文化、どう結び付くのかと。でも、よく考えてみると、チャールズディケンズの小説「クリスマス・キャロル」にもエントツが登場するよううに、文化的にも無縁というわけでもないんです。しかし、富士市のエントツは非常に数が多い。この数をどう生かすか、また風景の中で、富士山とエントツを対で考える必要があると思います。大勢の人がエントツに関心を持てば、企業も考えるようになりやすい。これからは、エントツを地域の文化に育てるような、地道な事業が求められる時代となるでしょう。



鈴木基之さん
(丸金製紙社長)

懇談会ではエントツについて、随分考えました。実は、以前はほとんど考えたことがなかったんです。私のところでは、公害対策のためのボイラーの共同化で、十社のエントツを一本にしました。今、ボイラーの小型化が進んでいますし、熱効率を考えると、将来はエントツがいらない時代が来ることも考えられますね。三百六十五本、ごろがいいですが、無用のエントツはたくす必要があると思います。またエントツに太陽電池や風車などを付けて発電し、地域に電気を供給するとかして、市民の皆さんに存在権を認めてもらえるようになればいいですね。最終的には文化遺産になるんでしょうか。





△芸術写真になり得るか

二十年先の

エントツ文化都市を目指して

気長に気長に

エントツ文化懇談会の意見を中心にまとめられた調査研究報告書（県のアドバイザーがまとめた）には、「エントツ文化都市」を目指すための計画案が盛り込まれています。案は、初・中・長期の三段階に分かれ、二十年という息の長いもので、最終的には、エントツ財団の設立を目指します。

初期計画（一～五年）

まず、エントツへの関心を高め、親しみを持てるような企画が考えられています。

◎エントツ名簿の制作

エントツを擬人化し、住所・年齢・身長などを入れます。社会科学の勉強にも使えるかも。

◎エントツ写真の収集

「富士市のエントツ今昔」「富士山とエントツ」「日本各地の有名、おもしろエントツ」などを集め、展示します。市内にも、おもしろエントツがあるかもね。

◎写真コンテスト

写真イコール芸術。エントツと富士山など、芸術写真を大募集。

◎エントツカレンダーの制作

三百六十五本のエントツにちなみ、カレンダーをつくりまします。そ

の中に三百六十五の活用アイデアを盛り込みます。もちろんアイデアは、皆さんから募集の予定。

◎エントツ文化シンポジウムの開催（ことしの十一月中旬を予定）

「エントツは文化となり得るか」をテーマに、全国の工業都市やエントツを抱えている企業などに呼びかけます。これは、本市から全国へ向けての問題提起となります。

このように、いろいろな計画案がありますが、これを進めるためには、推進のための組織が必要です。そこで、市民・企業・行政が参加した「エントツ文化研究会」などをつくることができればと考えています。

また、具体的なエントツへのアプローチとしては、改築や塗りかえのとき、周囲に合った色にするなどの、モデル実験をしたいという夢もあります。



△松林越しのエントツ群

中期計画（五～十年後）

初期計画の中でつくり上げた成果をもとに、活動の拡大や情報の蓄積を行う予定です。

◎エントツ学会の設置

エントツ文化研究会の活動成果などを生かし、より専門的な立場から各種研究や情報交流を行います。

◎全国エントツ文化都市連絡協議会の設置

シンポジウムに参加した都市などと連絡を密にし、地方の活動を全国へ、世界へと広げていきます。

長期計画（十～二十年後）

たくさんさんのエントツを、どうするか、いよいよ決まる時期です。

◎エントツ財団の設立

エントツ文化活動を、総括的に行うための組織です。

◎エントツ市民事務局の設置

市民が自由にエントツ文化活動を企画・運営する拠点とします。

二十年後の「エントツ文化都市・富士」を目指し、これから活動が始まろうとしています。しかしエントツのほとんどが企業の持ち物。市民の皆さんを初め、企業の協力なしには、進めることができません。

遊び心を持って、ご提言、ご意見をお寄せください。

問い合わせやご意見は

企画課 内線二八三六